

夢のままであいたい

堀川 花姫

っただいま

私は、テニスから帰って来ました。何も、
変わってないのに。何で、あの日起こった事
は、みんなにもみんなにえいきょうしてしま
うのだろうか。

10月23日。この日私はテニスから帰り風呂
に入っていました。ドカーン。ものすごい大
きな爆音と同時に激しいゆれがきました。風
呂の中下、立てませんでした。10ニツクにな
り、お姉ちゃんに助けもぐりながら風呂が
ら上がりました。服を着て、リビングに行く
と、周りにはあるカラーBOXなどが全てたお
れお母さんと弟が取り残されてました。たっ
とさねてようやくでぐらいました。けいたい、
眼鏡が見つかりにくく、探すのが、とても大
変でした。これは夢。そう何度も考えました。

外に出でみると、夜なので意外と寒く、た
んぽんの私は、ふるえていました。私の次女を
見た近所の人から、上着をかしてくれました。
かしてくれた人とは、あまりなじみがないの
にふるえる私を見て、上着をかしてくれました
た。お母さんが、家にふとんを取りにもこ
ていると知らない人が、ふさくの体育館か
友にいます。と声をかけてくれました。町内で
ましまつて弓道場に行きました。とんとん人
かきでぬれない人もいました。その中で、ゆ
あつてくれる人は、優しい人だと思えます。
こんなに、支援してくれた人達に恩返しにかし
たいです。それか災害をのりこえた私が、今
一番したい事です。

地域の人のあたたかさ、冷める事がなく
人々の生活を支えてくれると思います。

兵庫県のご二つ災害は私達の住んでいる新潟
と似ています。同じ事は、同じ事だけではないな

みんな地域のひと助け合ってかんはつた事が

2の県の共通している一番大事なことです。